

国立大学法人東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
ベイルート若手研究者報告会報告者募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所は、2010（平成 22）年度より開始した基幹研究の一つ「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社会編成」が中心となって、レバノン共和国ベイルートにおける研究拠点「中東研究日本センター」Japan Center for Middle Eastern Studies (JaCMES) を会場に、若手研究者の研究報告会「日本における中東・イスラーム研究の最前線」Middle Eastern and Islamic Studies in Japan: the State of the Art を開催します。これは、日本の若手研究者が進めている中東・イスラーム研究の最新の成果を、レバノンをはじめとする中東の研究者たちに広く知っていただくとともに、専門家同士の密度の濃い議論の場を提供することを目的としています。本報告会は、2006 年度はイスタンブールのボアジチ大学、2007 年度はベイルートのクラウン・プラザ・ホテル、2008・2009 年度は JaCMES にて開催しました。

1. 日程 2010（平成 22）年 11 月 ~~18 日（木）~~ 19 日（金）に変更になりました。

2. 会場 Japan Center for Middle Eastern Studies (JaCMES)
2nd Floor, Azariyeh Building (Lazarists Center) A2-1, Bashura, Emir
Bashir Street, Beirut Central District, LEBANON
tel.& fax. +961-1-975851
<http://www.aa.tufs.ac.jp/fsc/meis/base.html>

3. 応募資格 以下の条件を全て満たす者とします。
 - a. 日本において中東に関連する人文・社会科学研究（地域研究・歴史学・人類学・政治学・イスラーム学など）を専攻している者。国籍は問わない。
 - b. 2010 年 4 月 1 日現在、年齢 42 歳以下の者。
 - c. 応募時に大学院博士後期課程に在籍している者、もしくはそれと同等以上の研究業績を有する者。博士号の有無、有職者であるか否かを問わない。
 - d. 応募時までには日本もしくは海外の学会等において研究報告を行った経験のある者。

4. 会議の概要 報告者は 30 分間で英語により研究報告を行い、その後 15 分間コメンテータほか参加者との質疑応答を行うこととします。コンピュータ、プロジェクタ、大型液晶テレビといった機材を使った報告が可能です。

5. 派遣内容 報告者には日本からベイルートまでのエコノミークラス航空券による旅費と報告会の日程を含めて 4 日間程度の滞在費を東京外国語大学の規定に従って

支給します。

また、報告に対するコメンテータとして、レバノンの研究者を招聘しますが、これに加えて報告者の方でコメンテータとして出席を希望する研究者がいれば、その方をレバノンのみならず近辺の中東諸国から招聘する可能性もあります。

6. 募集人数 5名程度
7. 応募書類 (1) 履歴書(市販横書き用紙に準じるもの、写真貼付)
(2) 主要研究業績一覧(これまでに報告を行った学会名、報告題目を書き添えてください。)
(3) 報告内容要旨(英語による報告題目のほか、日本語 1,200 字程度もしくは英語 600 ワード程度で作成してください。また、コメンテータとして招聘を希望する研究者がいる場合には、その名前・所属先・連絡先を記入してください。)
8. 応募手続 応募書類は、下記「11.問い合わせ先」まで書留郵便で提出してください。締切日は、2010(平成22)年7月16日(金)当日消印有効とします。なお、封筒に『若手研究者報告会応募書類在中』と朱書きしてください。
9. 選考方法 書類審査
10. 選考結果通知 2010(平成22)年8月上旬(予定)
11. 問い合わせ先 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-1-1
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
フィールドサイエンス研究企画センター
(質問については、必ず文書又は e-mail でお願いします。
電話によるお問い合わせには、お応えできません。)
e-mail: meis@aa.tufs.ac.jp
Web ページ : <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/>

以上